



第1回（2016年度）日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞受賞者

日本アレルギー学会では、男女共同参画の取り組み・支援システムの促進を目的として「男女共同参画奨励賞（The Gender Diversity Award）」を設け、男女共同参画の理念に基づいた活動を継続するための環境を整えている学会員、または所属機関を表彰・広報し、さらに男女共同参画の活動を促進することを目指しています。2016年度、第1回日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し、応募者2名について厳正に選考のうえ、12月16日の理事会において下記の通り受賞者を決定致しました。受賞式は、本年6月17日第66回学術大会時の懇親会にて行われる予定です。

受賞者（敬称略 五十音順）

岡松由記（久留米大学小児科）

「あの熱い現場にタイムスリップしてみませんか？」を合言葉に、久留米大学小児科学教室主催のブラッシュアップセミナーを開催し10回目を迎えている。性別・所属大学を超えて、臨床現場を離れていた小児科医の復職支援を実践している。地域密着型の独創的な支援が、女性医師の復職に一定の成果をあげたことが、受賞に値すると評価された。

堀内照美（University Texas Medical Branch Division of Pediatrics, Clinical and Experimental Immunology and Infectious Disease, Associate Professor, Department of Pediatrics）

20年前から米国テキサス大学小児科研究室で研究課題に取り組む、日本人のみでなく諸外国をふくめた医師やPhDに対して、男女を問わず留学や研修の指導・教育、支援を行っている。特に日本人には、学部や研究室での日常生活のノウハウをもとに安心して異国の生活に慣れ、研究に励むことができるよう支援している。女性研究者のロールモデルとして、また若手医師への国際的活躍の支援が高く評価された。

